

「健康オフィス神戸」の取り組み

私たちはワーク・ライフ・バランスの推進を目的として、働く場であるオフィスに対し、その環境の面からアプローチする「健康オフィス神戸」をスタートしました。

“健康”と“オフィス”一見すると全く関係のないような2つのキーワードですが、ワーク・ライフ・バランスというフィルターを通すことで、「生産性向上」や「業務の効率化」といった“働き方改革”につながるヒントが見えてきます。

長時間労働の是正だけではなく、企業としての「生産性」や「効率化」に対しても貢献できるオフィス改革の手引きとして、『健康オフィス神戸 健康診断編と処方せん編』を作成しました。この誌面は、オフィスの現状をチェックする『健康診断編』です。ぜひ『処方せん編』も手にとって、貴事業所におけるオフィス改革の参考にご活用ください。



1 ■ オフィス空間に「ウチの会社らしい」と感じるデザイン要素が見当たらない。

オフィス空間を見渡してみても、企業の文化やビジョンを表現したものが何もないのは重症かも…。無個性なオフィスでは、社員の意識やモチベーションが低下し、チームとしての連帯感も生まれません。



「働き方改革」のための環境改善ははじめませんか。

健康オフィス神戸

社員の意欲を高め、生産性をあげるために

やってみましょう！ オフィスの健康診断

あなたのオフィスの現状や、あなたの考えに当てはまる項目に☒を入れてください。

2 ■ 目につく場所にグリーン（観葉植物など）がない。

空調によって快適な反面、季節感に乏しい現代のオフィス。電子機器が多いので、空間が無機質な印象にもなりがちです。働く人のストレスを緩和するため、手軽なグリーンを置くことから始めませんか？



3 ■ 社員の椅子は、長いこと座っているとツライ時がある。

ヒトが座ると、背骨のS字形状が崩れてアーチ状になり、上半身が疲れやすくなります。椅子に配慮していないオフィスは要注意！座面が硬すぎたり、デスクの高さに合っていないからといっていませんか？



4 ■ 紙の書類が多く、探す手間や収納スペースに困っている。

紙の文書は検索しづらく、承認・決裁・回覧などにも時間がかかります。紙のボリュームを減らせば業務が効率化でき、保管も省スペースで済むのでは？この機会に、“紙メタボ”対策を考えてみましょう！



5 ■

社内で仕事をするときは自分の席でやる。

常に自席に居て当然、席を外すのはご法度、そんな息苦しい職場環境になっていませんか？仕事の内容や目的に合わせて移動できる場所があれば、クリエイティビティや効率がアップするんですよ。



6 ■

会議はだいたい決まった机や椅子の配置で行う。

いつも同じ会議室で、コの字や口の字で話し合う、そんなオフィスは“会議習慣病”。緊張しがちになり、他の人の発言にも絡みにくいで話が広がりません。目的に合わせ、場所やスタイルを変えてみては？



7 ■

作業や会議は普通、座ってやるものだと思う。

座り姿勢はじっくり物事に取り組むのに向いていますが、座りっぱなしは身体に負担がかかります。また、会議が長引く一因にも…。これまでの常識を疑って「立ってみる」ことが、すこやかオフィスへの第一歩！



8 ■

他チームや他部署の人と雑談したり、一緒に何かに取り組む機会が少ない。

毎日、決まったメンバーと業務上の会話に終始していませんか？何気ない雑談からもアイデアは生まれ、他部門との交流からはイノベーションが起こります。必要なのは、その「きっかけ」づくりです。



チェックの数が多いほど、あなたのオフィスは不健康な可能性が！
オフィスの環境改善から「働き方改革」しませんか？



働き方改革のヒントが詰まった事例集「すこやかオフィスのつくりかた」〈処方せん編〉を差し上げます！

働き方改革とオフィスの環境改善の意義、そのポイントについてやさしく解説。さらに、理想のオフィス環境を考えるワークショップについてご紹介し、実際にオフィスをリニューアルされた事例も豊富に掲載しています。右記連絡先までご請求ください。



神戸市市民参画推進局参画推進部男女活躍労働課
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL : 078-322-5179
メール : danjyo@office.city.kobe.lg.jp
URL : <http://www.city.kobe.lg.jp/life/community/cooperation/office.html>



興味はある…でも何から進めればいい？そんな経営者様へ

ココから「働き方改革」始める

オフィス空間の環境改善は
取り組みやすく効果も大きい！

働き方を決定づける要素は「企業風土」「仕事のやり方」「支える制度」「空間の環境」など多岐にわたっているため、働き方を変えていこうと思えば多角的にアプローチする必要があります。「企業風土」や「仕事のやり方」は長年の蓄積の末に形づくられるものですから、急激な改革は難しい面もあるでしょう。

そんな中、比較的取り組みやすく、効果も見えやすいのが「空間の環境」です。これは見た目だけオシャレなインテリアを目的するものではありません。また必ずしも、建物の設計から大々的に変える必要はありません。ちょっとした仕掛けをついたり、レイアウトを工夫したりするだけで、作業効率やコミュニケーションのあり方は大きく変わり、企業風土や仕事のやり方への波及効果も期待できます。まずはできることから始めましょう！



ワークショップを通じて 私たちが感じたこと、気づいたこと。

ワークショップのプロセスは、「グラフィックレコード」という手法でビジュアルとして記録されました。先進的なオフィスを見学し、業種の違う他の参加者の意見も聞くことで、多くの気づきやヒントを得られたことがわかります。

グラフィックレコーダー：松井 大氏



未来のオフィスと 「はたらく」を考える ワークショップ

健康オフィス神戸
×
Open Innovation Biotope "bee"
とき 2018年2月8日(木)
場所 株式会社オカムラ 関西支社 KIZUKI LABO内
Open Innovation Biotope "bee"

理想のオフィスを見つけましょう！

この先、どんなオフィスでどんなふうに働きたい？その答えを見つけるワークショップを開催しました。神戸市内の別々の企業で働く若手7名が、株式会社オカムラの共創空間"bee"に集合。ワクワクするような次世代型オフィスの見学も挟みながら、楽しんでワークショップに取り組みました。

WORK 1 現状を見つめる

まず、自分が働いている「今のオフィス」に満足か不満かを考え、その理由を箇条書きで具体的にしていきました。同様に、制度などを含めた「今の働き方」についても見つめ直しました。

WORK 2 ヒントを探す

全員でオフィス内へ移動。各所を見て回り、社員の方から働きやすさへの工夫について説明を受けました。気に入ったスポットについて「どんな仕事に向いた場所か？」「働き方がどう変わるか？」などを考えてワークシートにまとめ、中間発表を行いました。

WORK 3 ありたい姿をまとめる

これまでのステップをふまえ、今後の「ありたい姿」と、そのために自分は何から取り組んでいくかを考えました。最後に、その内容を各自プレゼンテーション。今日の成果を持ち帰り、それぞれの自社でぜひ積極的に取り組んでいこう！と誓い合いました。

参加企業（敬称略、五十音順）
株式会社アシックス 川崎重工工業株式会社 株式会社神戸デジタル・ラボ 神鋼不動産株式会社 株式会社ドクターミール ミツセイベルト株式会社



部門を越えた自然の
コミュニケーション
スペース(スタジアム)

木を採用した
リラックススペース
(スタジアム)

コミュニケーションを生む 「ヒストリーロード」と「スタジアム」

ワンフロアとなったオフィスの中央を貫く動線は「ヒストリーロード」。77年の歴史を常に身近に感じながら、一方で過去にとらわれないクリエイティブな取り組みを目指します。オフィス中央には、ヒストリーロードとクロスする形で「スタジアム」と呼ばれるスペースも設置し、多目的に活用されています。



カジュアルに集えるソファスタイルのスタジアム。ヒストリーロードを通る人が、飛び入りでコミュニケーションもしやすいオープンな仕上がり。



デスクを自由にレイアウトでき、スクリーン機能も備えたスタジアムは、会議やプレゼンテーションにうってつけ。



ケーブルラックは、マツダ独自の「ソウルレッド」に近い色で塗装。曲線が空間の雰囲気を変え、社員同士の有機的なつながりをもイメージさせます。



フロアは黒を基調としながらも、ガラス張りの採用などで明るいオフィスを実現。

実際に改善した事例を見てみましょう！

ブランドを随所に表現し、誇りを持って笑顔で働ける場へ。

株式会社神戸マツダ



ワークスペースとワークスタイルの変革を目指して、「スマイルファクトリー」というコンセプトのもと、オフィスをリニューアルした株式会社神戸マツダ。本社機能を2階・5階から3階に集約し、随所に「マツダブランド」を表現するとともに、コミュニケーションの活性化も図っています。

ショールームも、最新のマツダ車を体感できるスペースとしてシックな装いに一新。ブランドロゴが大きく掲げられた受付は、本社に求められるすべてのお客様に対応する会社全体の「顔」の役割を果たします。



作業台や打ち合わせを想定したテーブルは、仕事が効率的になり、短時間のコミュニケーションの場としても重宝。



ミーティングスペースのテーブルは、同社のロータリーエンジンをイメージした形。



機密性の高い打ち合わせに最適な、高めの壁で囲ったソファスペース。

協力企業：株式会社内田洋行



健康オフィス神戸

私たちは、働き方改革や
ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組んでいます。

神戸市市民参画推進局参画推進部男女活躍勤務課
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL：078-322-5179
メール：danjo@office.city.kobe.lg.jp
URL：http://www.city.kobe.lg.jp/life/community/cooperation/office.html
神戸市広報印刷物登録 平成29年度 第705号（広報紙印刷物企画A-1類）



UNESCO
United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization
City of Design
KOBET
Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

◆この印刷物は、神戸市クリーン調達等方針に關する
判断基準を満たす紙を使用しています。
◆リサイクル適性の表示
リサイクル適性 A
この印刷物は、印刷用の紙の
リサイクルできます。 古紙/再生紙配合率100%再生紙を使用